

会員ニュース

発行 平成20年4月10日

ヴォックス音楽吟詠会

責任者 広報委員 一木翔雲



南雲一廣先生 遺訓
 ヴォックスの芸術吟詠で、人の心に
 息吹を与え、荒廃した人心を詩吟の
 魂で生き返らせた。

源氏物語絵巻 第三十八帖 鈴虫二 源氏五十歳の夏から秋

徳川美術館

名古屋市東区徳川町1017 徳川美術館は、1935年(昭和10年)開館。公爵 徳川美親の寄付によって創立された(財)徳川黎明会が運営している私立の美術館である。総石高61万9500石を領し、親藩筆頭であった尾張徳川家の歴代の大名道具や、徳川宗家、一橋徳川家、蜂須賀家などの大大名の重宝など収めており、戦中戦後の混乱を免れ現在に至っている。有名な「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財57件、重要美術品46件を含む。館内に「名古屋城二の丸御殿」を時代考証に基づき、部分的ながらも復元し、単に美術品のみの美しさに留まらず、日本の伝統美「構成の美」または「取り合わせの美」を堪能できる。

2月1日～4月6日 徳川雛祭り。4月13日～5月19日 正宗～日本刀の天才とその系譜～ 開催。

庭園内茶席【宝善亭】にて春の彩り 懐石風お弁当 ひな御膳がオーダーできます。その他、源氏物語誕生1000年記念切手 館内にて販売中。

*** JR中央線、名鉄瀬戸線、地下鉄名城線のいずれも、「大曾根駅」下車すぐ ***

心を合わせて 前進しましょう

会長 岩淵公胤

光陰矢の如し、まこと月日の経つのは早いもの…。日頃はヴォックス音楽吟詠会、各地区諸先生始め、皆様方には、ご理解ある御支援ご協力を賜っておりますことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

昨年の「ヴォックス音楽吟詠会全国決勝コンクール」には、近畿地区の皆様の献身的なご尽力により亦、名流大会には播磨地区の担当で、何れもヴォックスならではの、のさすがヴォックスという盛会で終了しました。

重ねてその労に対し感謝の意を表したいと存じます。

本年二月二十二日には、山梨県笛吹市において全国執行部会議を開催致しました。諸先生方には、ご多用の中、遠路ご出席下さいまして、厚く御礼申し上げます。

吟剣詩舞は、日本の伝統芸能であり、心の栄養であり、精神文化の高揚に最も意義ある芸術で、品格ある高尚な趣味であると、確信しております。



19年度吟詠コンクール
表彰式 19. 10. 8

ヴォックスは、心の豊かな、心の温かい人達の集まりです。二度と無い人生。この乱れた、殺伐とした世の中を立て直すには、この吟剣詩舞が一番。もうでは無くまだこれから！この気持ちを忘れず微力ながら頑張つて参ります。

声は腹から…。という表現は、諭えるならば、声は外に表れた結果であり、腹は、それを陰で支えて調節するものだと思います。縁の下の方というのでしょうか。どの様な事であれ、人の見てない所で黙々と頑張っておられる人のことを忘れてはならないと思います。

ヴォックスの明日を信じ、一緒に前進しましょう。今後共更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げますと共に、皆様方のご繁栄と併せて健康、ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成20年度執行部会議開催

意欲的ご意見に感謝

事務総長 草薙典龍



昨年七月、事務総局が名古屋の中部へ移籍という大改革となりました。今、総力をかけ、今後のVOXについて（如何に取り組むべきか）毎月一回以上、事務総局会合を開き研究討議しております。

新規役員に、委嘱状を発し、事務局体制を整え、先般（二月二十二日）に開かれた、全国執行部会議において、今日にまで頑張つて下さった、役員諸先生を讃えて感謝状と粗品を贈呈致しました。

執行部会議では、忌憚りの無い活発な発言が相次ぎとても意義ある会合となり、夜の会食懇談会は、リラックスして和気藹々大変盛り上がりしました。

翌日の有志による観光は総勢三十名。東京地区本部の諸先生には、大変お世話になり、天候にも恵まれ、風林火山の（武田信玄の里）（ワイン工場見学とフランス料理）など本当に楽しい観光となりました。

執行部会議で提議された会議のあり方の問題（五役会・地区本部長会議・財務や規約の諸問題）には、真摯に受け止め見直しに取り組めます。

また、VOXの顔として会報（VOX会員ニュース）を重視し、その充実を目指しております。会員名簿も見直しし、最新版の正会員名簿を作成しました。

ホームページ開設に向けての諸準備も進めております。

微力ながら事務総局スタッフ一同、力を合わせて、皆様のご期待に応えるべく、頑張つて参る所存です。

今後とも何卒変わらぬ御支援ご指導を賜りたく存じます。

総本部役員人事

顧問

黒沢 吼風 先生



水府流吟道秋田吼風会会長

黒沢先生には、当会相談役として、多大の御力添えを賜って参りました。今年顧問に就任して頂き、更に大所高所からご指導ご鞭撻を賜ることとなりました。

プロフィール

昭和十八年 秋田鉦山専門学校卒業

二十九年 水府流吟道入門

三十六年 水府流吟道師範

四十八年 陸上自衛隊定年退職

五十年 紫峰吟詠研究会主幹

五十二年 水府流吟道宗範

五十三年 (財)公認茨城県吟剣詩舞道総

連盟事務局長

五十四年 ヴォッククスレコード吟詠会専務

理事後相談役

五十五年 日本吟詠総連盟運営委員

平成二十年 ヴォッククス音楽吟詠会顧問

参与

渡辺 賀鏡 先生

前播磨地区本部長

吟道賀堂流近畿本部元老

参与

柴田 旭旺 先生

前東中国地区本部長

日本旭旺流吟詠会宗家会長

東京地区本部長

寺橋 曉穂 先生

詩吟曉穂流宗家



私こと本年一月の東京定時総会に於いて東京地区本部長を拝命致しましたが大変な重責と感じております。浅学非才をも顧みず、お引き受け致した次第です。前任岩淵公胤先生の素晴らしい人望によって長期に亘りヴォックス東京地区本部を運営され揺ぎ無い路線を引いて頂き感謝致しております。昨今は吟界の衰退を憂うる声しきりですが、まずは、第一に、文部科学省の教育指導が先決と考えておりましたところ、どうやら教育の見直しという方向へ教育方針が向うよう、国語の時間が増えるという報道が新聞紙上を賑わすのは、同慶の至りです。新会長は必ず、ヴォック

クスは、心豊かな皆さんの集う処」と話をされます。私も友愛の精神を大切に致す所存で御座います。どうぞご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

播磨地区本部長

松井 賀鶴 先生

吟道賀堂流近畿本部副本部長



日ごとに春の訪れを感じる今日この頃、会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年十一月二十三日には、「第八回全国名流吟剣詩舞の集い」が播磨地区で開催されました。その節には遠近問わず全国から姫路へお集まり頂き会員皆様の力強いご協力のもと流派を超え大変和やかな親睦交流会が出来ましたこと深く感謝し御礼申し上げます。会場に初代会長南雲先生のお顔が拝せ無かつたのが、残念でしたが、今後は二代目清水名誉会長のご指導のもと皆心を合わせ頑張ってくださいませ。今の世の中、人々の心が大変荒んでしまった。今こそ我々吟剣詩舞を嗜んでいる者が日本人の心と身体の栄養となる活動を推し進め具現にご協力ご尽力をお願いしたいと思えます。最後に皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

全国 地区本部行事、催事年間計画

月度						
4月						
5月	5月4日(日) 群馬地区 吟風まつり				5月25日(日) 西中国地区 吟詠コンクール	5月25日 東京地区 吟詠のつどい
6月	6月1日(日) 東京地区 吟詠コンクール	6月1日(日) 近畿地区 吟詠コンクール	6月8日(日) 播磨地区 吟詠コンクール	6月14日(土) 群馬地区 役員会議	6月15日(日) 神奈川地区 吟詠コンクール	
				6月22日(日) 信越地区 吟詠コンクール	6月29日(日) 北関東地区 吟詠コンクール	
7月	7月21日(月祝) 群馬地区 吟詠コンクール				7月27日(日) 群馬地区 会津研修会	
8月	8月3日(日) 中部地区 吟詠コンクール					
9月						
10月	10月4日 課題吟詠CD吹込	10月5日(予定) 吟詠コンクール 全国決勝大会 愛知県 名古屋市教育センター				

※第9回全国吟剣詩舞のつどい(名流大会)は、平成23年、東京地区開催です。

会員ニュース 読者の方へ

本紙お求めは、各流、会派、団体ごとにお申し込み下さい。個人でのお申し込みも承ります。

申し込み随時。費用・購読料は、無料です。

(広報委員) 090-8184-2642 一木 翔雲まで
〒510-0885 四日市市日永4-1-29

吟詠と舞。最近CD、カセットによって舞うケースが多くなっている。その点ヴォックスはまだまだ生吟が多くて、好感がもてる。だが大きな問題は、双方に認識の差がかなりあるということだ。伴奏と間合いの二点である。

舞の振り付けは、前奏から作られるケースが多い。間合いは、舞の「決め」姿勢からの転換に時間を要すからである。リハーサルが重要だ。

下座のしづやま



素晴らしい幕あけ 播磨地区女性合吟

盛大☆充実 全国名流大会 播磨地区 姫路市花の北市民広場

平成十九年十一月二十三日ヴォックス音楽吟詠会の集大成とも言えるべき全国名流大会が、兵庫県姫路市 姫路城の程近く、花の北市民広場ホールにて、盛大に開催されました。本大会は、播磨地区本部に担当していただききました。左記写真は、記念すべきプログラムNO.1 播磨地区合吟の皆様です。

【名流吟剣詩舞の集い】 播磨大会にご参加】に御礼

播磨地区事務局長

燈本賀求道



白鷺の飛ぶ
姿の芸術的な
城郭の白鷺城。
城下町は秋の
真っ只中。

昨年十一月

二十三日、姫路市(花の北市民広場)で「名流吟剣詩舞の集い」が開催されました。各地よりご出演下さり市民広場は、大入りで本当に有難う御座いました。役員一同心より有り難く厚く御礼申し上げます。演奏の先生が交通混雑のため遅れた由。私は役員会後、会場内を、探し回っていて、舞台の進行には全くタッチ出来ず、ご挨拶においでくださった来賓の方に、お礼を申し上げた程度でした。

舞台は、合吟・独吟から、剣詩舞へと進行して参ります。独吟される方の中には、文部科学大臣賞受賞者が五名みえました。歌謡吟詠は東京地区のみで、全国的にもっと普及するといいですね。

東京地区は十四名ご参加、中部地区は【乃木將軍】を讀えた構成で四十名ご参加。近畿区は三十四名



会場 客席満員です

参加して下さいました。

参加して下さいました。神奈川地区は、構成吟中男女九名で合吟。信越地区は、四名のご参加。群馬地区は、大阪在住の先生がご参加。全部で四十八組百六名でした。

播磨地区は、五十六組百九十一名で、構成吟「宮本武蔵」を演出。今迄、武蔵の生地は、岡山県だったが高砂市と判明。姫路にいられた草薙先生と私とで下見を致しました。

そして大会前日に中部地区の皆様は、姫路市と高砂市の宮本武蔵の史跡巡りをされました。

総本部の構成は、中国と日本の有名詩を選りすぐり(名詩に遊ぶ)世界に浸りました。

懇親会は、中部地区のバスのかバス二台で姫路キャッスルホテルに移動、百六十名の大懇親会は、



大盛況 懇親会風景

大変盛り上がりました。ご列席の先生方、有難う御座いました。梅原 猛先生が「池田輝政公の創った城は造形美の最たるもの」と絶賛されました。その姫路城の北に有明峰(弥生古墳)、増位山(城主墓群) 広峰山(祇園本宮)、青写山(弁慶・和泉式部)のほか、赤松円心、雪村友梅、河野鉄兜、頼山陽、柳田国男、和辻哲郎、三木露風、有本芳水、松尾芭蕉ら歴史上有名な人や文学者の史跡多数の播磨です。黒田官兵衛は、姫路城を秀吉に進呈、信長や秀吉の軍師として、一世を風靡しました。後に福岡や豊前で大々名の名声を挙げました。御礼の言葉を綴るにあたり、播磨を少し紹介させて頂きました。歴史こそは人生最高の伴侶です。詩吟を続けていたからこそ、より深く納得できます。詩吟の世界の素晴らしさを讀えずには居られませぬ。

掬躬

平成19年度 ヴォックス音楽吟詠会
全国吟詠コンクール決勝大会

おめでとう！

文部科学大臣賞

播磨地区本部代表

受賞者

盛満 眞弓さん

吟道賀堂流近畿本部所属
 担当師範 石井賀崇石先生
 吟歴 二十六年(賀石滯)



**文部科学大臣賞を
 受賞して**

盛満 眞弓

私とヴォックスとの出会いは、師匠がヴォックスで得られた好成績に刺激を受け私も挑戦を決意したので。それから足かけ10年過

ぎましたが思うような成績も残せず
 にいました。そのような頃思いもか
 けない大病を患い、好きで始めた詩
 吟の修行から離れ、療養の日々を送
 らざるを得なくなりました。吟じる
 喜びを断ち切り、療養の日々に暗澹
 とした生活を送っていた時、師匠か
 ら吟への復帰を促されたのです。

このお誘いに思わず吟ずる喜びを
 捨てきれず、身体と相談しながらの
 再起を決意しました。再起を機に定
 めた目標は、長年の夢として又師匠
 に少しでも追いつく為の糧として、
 ヴォックスへの出場と念願の達成を
 掲げたのです。その為自分なりの努
 力を重ね、昨年の大会出場に漕ぎ付
 けましたが、まさか復帰後初の大会
 で思いもかけない優勝と、文部科学
 大臣賞受賞という二重の栄誉を得る
 ことが出来ました。

これは偏に、師匠をはじめ、詩吟
 の仲間の暖かい支えがあったおかげ
 と感謝しております。この後は、こ
 の度の受賞を、私の詩吟人生におけ
 る最高の栄誉として、胸に刻みつけ、
 微力ながらも吟詠界の発展に尽くし
 て行きたいと思っております。

全国吟詠コンクール 一部

(敬称略)



- | | |
|-----|------|
| 優勝 | 塩田 茜 |
| 準優勝 | 富澤志織 |
| 三位 | 岸本奈々 |
| 四位 | 鈴木邦保 |

群馬地区 塩田 茜

私は、高崎商科大学付属高校一年です。大阪
 で実施されたヴォックス音楽吟詠コンクール幼
 少年の部で優勝することが出来、驚いております。
 群馬に帰ると地元紙「上毛新聞」の記者が
 自宅を訪問、取材があり、しばらくして新聞に
 「全国大会で優勝」の記事が出ました。

私の先生は、国壮流荘孝会の小野里荘孝先生
 です。荘孝会の会員は全員、吟詠のほか剣詩舞
 も修業しており、発表会では、吟詠と剣詩舞の
 三部門を必ず発表します。

私が入門したのは、中学時代の友達、越谷綾
 乃さんから勧められたからです。綾乃さんは、
 昨年の全国大会で優勝され、本年の大会で模範
 吟詠をされました。今後は、継続に努力してゆ
 きたいと思えます。

姿凛々しく



左 担当師範
小野里莊孝先生
右 塩田 茜さん

群馬地区

小野里莊孝

国壮流小野里道場を
担当しております。私
達の来年の目標は、青少年の増
強と歌謡吟を取り入れること
です。それから漢詩の作り方にも
意をもちたいと思っております。
塩田茜さんの全国優勝の
新聞記事が出ましたので、全員の
意欲向上の気が倍加致しました。



吟詠コンクール 二部

(敬称略)



優勝 石田理絵
準優勝 樋上知香江
三位 唐木さやか
四位 樋上芳喜
五位 越谷桂子

吟詠コンクール 三部

(敬称略)



優勝 盛満真弓
準優勝 大浦恒子
三位 中村玲子

吟詠コンクール 四部

(敬称略)



優勝 浜田輝子
準優勝 大田満春
三位 川原勝典
四位 平井吉宜
五位 浅野辰巳

吟詠コンクール 五部

(敬称略)



優勝 別府昌彦
準優勝 中川やい
三位 関口清登

吟詠コンクール 六部

(敬称略)



播磨地区代表
腰前孝子
三木輝子
福井幸子
河村裕子
田中良子

総本部役員の配置

名誉会長 清水 源翁 (相談役 兼務)	会長 岩淵 公胤 事務総長 (副会長兼務) 草薙 典龍	参与 渡辺 賀鏡	参与 柴田 旭旺	顧問 黒沢 吼風
副会長 岡田 岳龍	副会長 本田 天水			
監事 日下 美晃	監事 渡邊 伯陽	副事務総長 大塚 龍伸		

群馬	播磨	神奈川	信越	北関東	西中国	近畿	中部	東京	地区
国分国壮	松井賀鶴	山室瑞山(代行)	中山国洲	生天目輝風	本田天水(兼務)	岡田岳龍(兼務)	草薙典龍(兼務)	寺橋暁穂	地区本部長

平成19年度 吟詠コンクール全国決勝大会成績

	優勝	準優勝	3位
第一部	塩田 茜	富澤志織	岸本奈々
第二部	石田理絵	樋上知香江	唐木さやか
第三部	盛満真弓	大浦恒子	中村玲子
第四部	浜田輝子	大田満春	川原勝典
第五部	別府昌彦	中川やい	関口清登
第六部	「播磨地区」 腰前孝子 三木輝子 福井幸子 河村裕子 田中良子	「北関東地区」 春日ツル江 染谷栄子 上妻元子 西久保郁子 岩井まつ子	「中部地区」 須田輝美 犬伏富美子 田所安子 守本美智子 芝田千鶴子

平成20年度 吟詠コンクール 課題吟

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
和歌・俳句	涼州詞	廬山の瀑布を望む	両英雄	芳野	中庸	偶成	菊花	春廉雨窓	山行	桂林莊雜詠・諸生に示す(二)	舟中子規を聞く	常盤孤を抱くの図に題す
※自作を除く※												
王之渙	李白	徳富蘇峰	河野鉄兜	元田東野	朱熹	白居易	頼鴨崖	杜牧	広瀬淡窓	城野静軒	梁川星巖	

郷土を詠う〔信越地区 片倉清彭（清風）〕

平成十九年十月二十二日

酖秋乗鞍高原

躑躅残暑秋天玩
現欲寫眞黄未半
今季亦因温暖淋
冀濃粧速山腰煥

再訪于酖秋乗鞍高原

再訪乗鞍麓
此良眞見秋
山黄黄作彩
澗謐謐阿流
菌蕈今茲曠
往年籃憶収
忘憂斜日至
鞭撻尚難留



躑躅して残暑 秋天を玩ぶ

現に眞を寫さんと欲すれば 黄未だ半なり
今季も亦 温暖に因てか 淋し
冀ふなり濃粧速にして 山腰煥らかなるを

再び訪ぬ 乗鞍の麓

此に良し 眞の秋を見る
山は黄黄として 彩を作し
澗は謐謐として 阿を流る
菌蕈 今茲曠し
往年籃に 収めしことを憶ふ
忘憂 斜日に至る
鞭撻して 尚留まり難し

短歌

第28回 全国吟詠コンクール決勝大会

信越地区 片倉清風

信濃路を 背にし眺めし大阪へ

曇り空にも心晴ればれ

大阪の城を余情にコンクール

聴く高樓の秋の吉き日に

ヴォックスの賜杯に挑む朗詠に

心ひかれて心根覚ゆ



郷愁あふれる信州の山並み
思わず、作詩の意欲が わき興る。
20年2月23日 執行部会議の帰路、広報委員撮影

平成20年度
執行部会議
 山梨県笛吹市石和温泉

2月22日(金)～23日(土)

平成20年度「執行部会議」が山梨県笛吹市 石和温泉、ホテル糸柳において開催され、会計予算、同決算、事業計画、同報告や人事、今後の活動方針や要望など数多くの議事が審議されました。熱のこもった論議は、会場を席卷し、審議時間を延長して3時間以上に及び、ヴォックス発展へ熱気が充満し終了しました。出席者は、37名でした。

東京地区役員の皆様、お世話になりました。



定刻より早めに、会議開始



会議終了し、一同記念写真。安堵の表情



功労者 感謝状授与



会議の時間が足りず、
 夕食前に1時間以上審議続行



ようやく、懇親会に入るや、
 一変して和やかに。



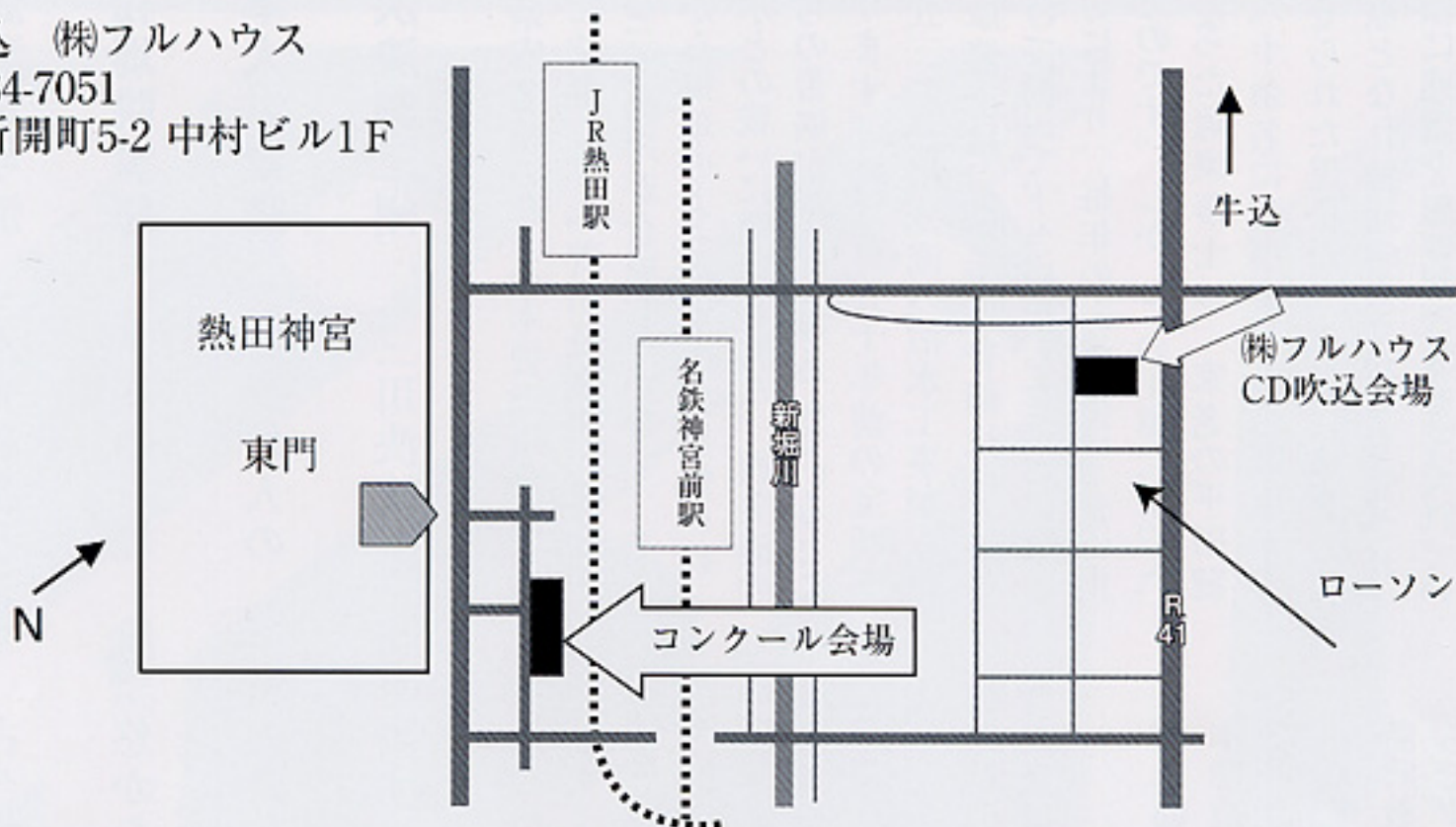
翌日(23日)は、武田信玄ゆかりの神社や山梨秩父多摩甲斐国立公園、昇仙峡観光の楽しいひと時。

20年度 VOX吟詠コンクール 決勝大会

♪♪♪会場案内♪♪♪

名古屋市教育センター 名古屋市神宮6-14 ☎052-683-6425

CD吹込 (株)フルハウス
☎052-884-7051
瑞穂区新開町5-2 中村ビル1F



各地活動報告 ■三重県

なごやか、蝉しぐれ 和歌と吟詠・剣詩舞のつどい

中部地区 吟詠剣詩舞神奈備会
古海 瑛翔

お昼は、サポーターの皆さんによる手作りカレーで、おなか一杯。午後は、菰野富士と呼ばれる小高い山にトレッキング、二十分程で頂上に登ると眼下に伊勢湾が広がり絶景のロケーションに、誰もがにわかに歌人

私たちが「神奈備会」では、毎年夏の宴と銘打って、歌垣あそびと吟剣詩舞の催しを企画し、昨年は第二回目を開きました。その時の様子を報告します。
参加人数は、二十五名、会場は温泉のある菰野町(三重県)。
朝十時に始まり、吟剣詩舞の表演、次に昨年初の試みで好評を得た五人の講師による研究発表会。



共催 静吟詩堂名古屋本部・聖山流吟舞楽の皆様と記念写真

となる。次々と生まれる俳句や和歌を書き留めるのに汗をかく。山を下り溪流の傍で吟じるとビールがうまい。全く自然は素晴らしい。夜は、夜景を眺め、露天風呂につかる。仲間との会話は、尽きることが無い。こんな一日を今年も企画する予定です。最後に作品集のなかより、私が選んだ五首を載せて終りと致します。

曇り空 気分晴ればれ稽古あと

ビール片手に菰野を制す

梅岡 香翔

菰野富士 せせらぎ川で

タバコのみ 三ツ谷静信

菰野富士 登りの道にカナカナの

夏の終わりを告げるが如く

古海 瑛翔

菰野富士 火焰の如く

雲の湧く 濱川 静濤

去年来て 今年又来た蝉しぐれ
老いを知りても精気を燃やす

花井 静櫻

木曾三川公園望楼に上る 中部地区 河田錦峰(誠龍)

水光激漣古今流 水光激漣として 古今に流れ

千樹松堤眺望悠 千樹の松堤 眺望悠かなり

薩摩隼人洪業跡 薩摩隼人の 洪業の跡

三川決決劃三州 三川決決 三州を劃す



解説 水はキラキラと陽に輝いて昔から今に到るまで流れ、千本松原の堤防を遙か遠くまで眺めることが出来る。この素晴らしい景色は昔薩摩義士が身命を濯いだ大きな事業の跡であり、美濃・伊勢尾張の三つの国を分けて、この三川はなみなみと流れている。

※岐阜県内名勝のひとつ木曾三川公園は、海津市に位置し、木曾川長良川・揖斐川の大きな三つの川が合流しています。そこは、昔から毎年のように水害に見舞われ、言わば水との戦いに明け暮れた、西美濃の百姓たちの苦悩が深くしみ込んでいるところでもあります。約二百五十年前の宝暦三年(二七五三)三川分流の治水工事が行われ、薩摩藩士は、御手伝普請役として、命を掛けて働いて下さいました。この血と汗の苦勞により、毎年の大洪水は、食い止められたのです。しかしこの工事によって、犠牲となった薩摩藩士は、家老の平田鞠負ほか八十余名に及びました。薩摩から取り寄せられた黒松が、立派に成長して千本松原となり地元の人々からも愛され、その業績に感謝を思い起こさせてくれます。公園の中央にあるタワーから、公園全景は勿論、美濃・尾張・伊勢を分けた

三川と治水神社・千本松原を眺めることが出来ます。九月上旬に漢詩大会会長(伊藤竹外先生)より手紙で(貴殿の作詞「木曾三川公園望楼」が優秀賞に選ばれたので是非大会に参加下さい。)との要請を受け思わぬ受賞ゆえ四国松山・道後温泉に二泊三日の行程で行って参りました。十一月二十三日の大会には、優秀作には、四国四県のほか、全国の詩吟・剣詩舞の選抜者が見事な演舞で歓迎してくれました。

河田錦峰先生は、誠舟流吟道館岐阜県本部前理事長。ヴォックス中部の重鎮です。先生の地元、多治見市には、高齢者の学習として、「桔梗大学」があり、詩吟教師として、十五年の実績をお持ちです。大学の文集(葉)に記事、漢詩を投稿されております。



ご案内

★歌謡吟詠入り CD発売♪♪

!! ヤマトタケル 日本刀 !! 19年度優勝者吟詠

20年度課題吟詠集 ￥2,500 1枚

ご購入は、各地区事務局長まで

広報部からのお願い

面白い紙面にしたいと工夫しています。大会、各地行事報告、会員ご意見、出来事、人物紹介、和歌漢詩の作品発表吟詠随想、舞台雑感、詩文鑑賞、各流各会活動だよりなど、お知らせ下さい。

(一件 二百〜四百字程度)

広報委員